

星つむぎの村本の森だより No.29

星つむぎの村は、「星を介して人と人をつなぎ、ともに幸せを作ろう」をミッションにプラネタリウム、星空観望会、星や宇宙に関するワークショップなどを展開している団体です。

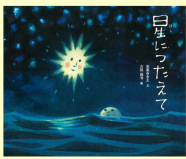
★ぼく・わたしの絵本

「みずとは なんじゃ？」かこさとし作 鈴木まもる絵 小峰書店



「水」の性質や大切なはたらきを説明できますか？かこさんの科学の目が、わかりやすく楽しく教えてくれます。海と向かい合うたくさんの生き物たちと一緒に「水」のことを考えてみよう。

「星につたえて」 安東みきえ文 吉田尚令絵 アリス館



物語は、旅をするほうき星と、海の中でおだやかに暮らすクラゲとの出逢いから。クラゲが伝えたかった、ほうき星へのやさしいことばは、思いがけない形で…。ほんのりとした幸せが満ちてくる絵本です。

★ティーンエイジの君へ

「モモ(絵本版)」ミハエル・エンデ文 シモーナ・チェッカレッツィ絵 松永美穂訳 光文社



聞きょうずな女の子モモは、人の話はもちろん、こおろぎの話にも風の話にも星空の声にも耳を傾けます。児童書『モモ』が好きな人も、読んだことのない人もぜひ手にとって欲しい絵本です。

「四角い空のむこうへ」 由美村嬉々文 羽尻利門絵 晶文社



人工呼吸器ユーザーあきらくんの14歳のお誕生日プレゼントは、居間から雲や星が見える天窗。「大空や宇宙をもっと知りたい」「気象予報士になりたい」そんな夢が膨らんだある日、一通の手紙が届きました。少年の夢と未来を応援したくなるお話です。

★トピックス。。。

厳しい冬が終わり、穏やかな空気が身体を包む春の夜は白い霞におおわれて星も優しく輝きます。ひしゃくのかたちをした北斗七星からうしかい座アークトゥルス、おとめ座スピカをへてカラス座につながる星々は「春の大曲線」と呼ばれています。その曲線の流れは、木々の芽吹きを祝う美しい旋律のようです。耳を澄ませば、星の奏でる音楽や応援のメッセージが天から聞こえてくるかもしれません。お花見に出かけた夜には、是非、星を探してみてください。

次号の発行は7月1日です。本の森だよりのバックナンバーは、星つむぎの村ホームページに掲載されています。

★パパ・ママの本

「みちこさん英語をやりなおす am is areでつまづいたあなたへ」



益田ミリ著 ミシマ社
わかりたい気持ちに素直になって、ひっきりを掘り下げたら、なぜか日本語が見えてくる、言葉をつかう人の心が見えてくる。「わかる」ってうれしい！この春何かを始めたいあなたに。

「アインシュタインひらめきの言葉」

アルバート・アインシュタイン著 弓場隆+ディスカバー編集部編訳 ディスカヴァー・トゥエンティワン

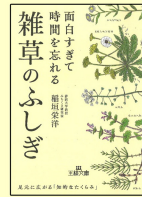


アインシュタインの言葉が天体写真とともに、時に大きく小さく様々に配置され、宇宙空間を浮遊しながら前方からやってくる彼の言葉に出逢うようです。

★みんな・みんな生きている！

「面白すぎて時間を忘れる雑草のふしぎ」

稲垣栄洋著 三笠書房



「雑草という草はない」踏まれてみたり、寄生したり、あえて枯れてみたり…どんな雑草もボーッと生えてるわけじゃない！雑草が愛おしくなり、散歩に行くのが楽しくなること間違いなしです。

「似ているけれどちがう生きもの図鑑」

宇津木聡史文 安齊 俊イラスト 文一総合出版



その虫、本当にテントウムシ？どうしてそんなに似ているの？100種以上のそっくりさんが登場します。生きものたちの見事な工夫を愛らしいイラストでわかりやすく解説。コラムにもへえ！がつまっています。

星つむぎの村の活動やイベント情報はホームページ、Facebook、Instagram、You Tubeなどで発信しています。ぜひご覧ください。



編集・発行

一般社団法人 星つむぎの村

〒409-1502

山梨県北杜市大泉町谷戸6587-2

☎0551-88-9027

✉ book@hoshitsumugi.org

HP: <https://hoshitsumugi.org/>